

福岡市民病院 地域連携広報誌

Fukuoka City Hospital

**F C H**

**Vol.56**

**2026  
New Year**

- 新年のご挨拶
- 感染症内科のご紹介
- 研修会のお知らせ



地域医療支援病院  
地方独立行政法人福岡市立病院機構  
**福岡市民病院**

TEL 092-632-1111  
FAX 092-632-0900  
福岡市博多区吉塚本町13-1  
<https://shiminhp.fcho.jp/>



新年明けましておめでとうございます。院長の堀内でございます。

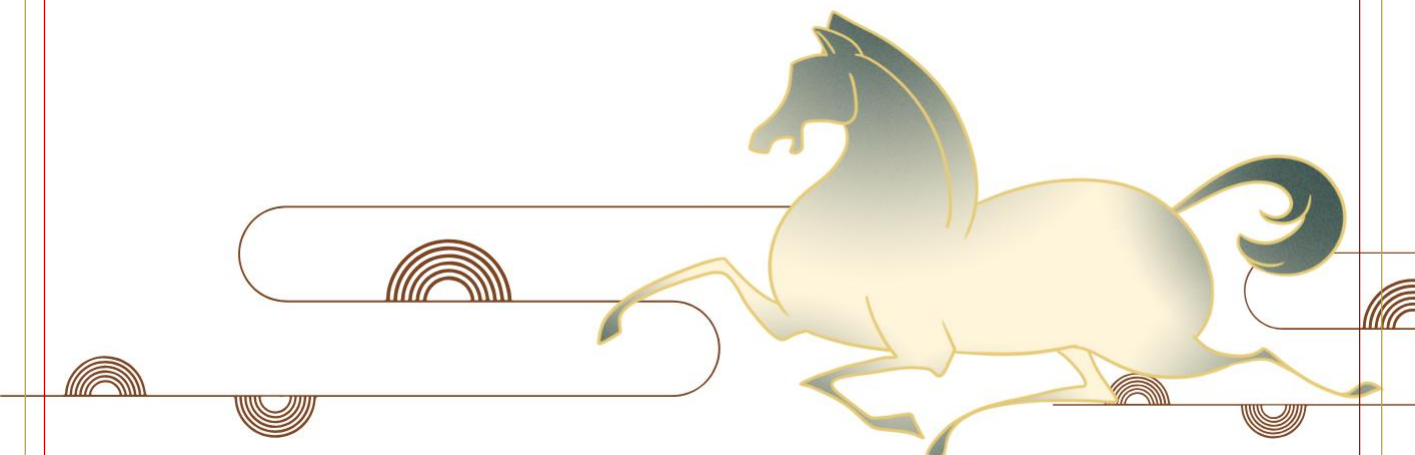
令和8年（2026年）を迎えるにあたりひとことご挨拶をさせていただきたく存じます。

福岡市内および糟屋郡の医療機関の皆様方には、平素より福岡市民病院と緊密に連携していただき誠に有難うございます。お蔭様を持ちまして、患者さんの円滑な紹介と受け入れが可能となっていると思います。心よりお礼を申し上げます。今後も地域医療のお役に立てるように努めてまいります。本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

さて、福岡市民病院にとりまして今年、令和8年は大きな転換の年となります。新病院の移転先が2月には正式に決定される予定です。それをふまえて、国家公務員共済組合連合会千早病院との再編成に向けた協議も、より具体的に進める環境が一層整ってまいりました。新病院の建設に向けて大きな一歩を踏み出す最初の年となります。短期的には、昨今の厳しい医療環境のなかで病院経営を軌道に乗せる努力を怠ってはなりません。中・長期的には新病院が果たすべき機能と役割を検討していかなければなりません。2040年を見すえた新しい地域医療構想も今年は明確に見えてくると思います。

福岡市民病院は、今後、多面的、多層的な視点から新病院の使命を自問し、あり方を追求してまいります。そのことが結果的に、新病院の存在意義を高め、社会貢献にまい進できる体制の構築につながると思います。今年から始まる新病院完成までの道のりは決して容易なものではありませんが、職員一丸となって一つ一つ課題をクリアし、前に進んでまいります。

では福岡市民病院の使命は何か。救急や感染症医療など、たとえ不採算部門であっても必要とされる医療を担い、福岡市民の健康と福祉を守りぬくこと、この一言に尽きると私は考えています。そしてこの使命を将来にわたって果たし続けるためには、経営の安定も同時に実現していくことが不可欠であります。公的病院の使命実現と経営の安定化、一見両立が難しい、しかしどちらも重要なこの二つの命題に、今年は懸命に挑戦してまいります。





# 謹賀新年

昨年から今年にかけて、世の中は長期のお休み、9連休でした。インフルエンザ流行の程度が読めない中、福岡市民病院は、福岡市および福岡市医師会の要請に応じる形で1月2日の1次救急を担当しました。加えて、病院独自の取り組みとして、昨年12月30日、31日、今年1月2日の3日間は救急の担当医を例年の2倍に増やして2次救急に対応しました。今後も状況に即応する形で救急を機動的に運用していきたいと思います。この機動的運用には、新型コロナ禍への対応で当院が培うことができたノウハウも生かされています。今後も来るであろうさまざまな感染症の流行に即応するために、このノウハウを積み重ね、継承していきたいと思います。

今年の干支は午ですね。私が真っ先に思い浮かべた諺は、月並みではありますが「塞翁が馬」です。この言葉は、目の前の出来事を一喜一憂するのではなく、変化の中にこそ次の可能性があるという教えだと思っています。新病院の建設や病院を取り巻く環境の変化は、予想を超えた厳しいものかもしれませんが、その一つ一つを糧とし、より良い医療を地域に提供する機会へと転じてまいりたいと考えております。

私たちに課せられた5つの使命である、感染症医療、救急医療、災害医療、高度医療、そして地域医療への貢献を改めて胸に刻んで日々診療に努めてまいります。本年もご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



福岡市民病院  
院長 堀内 孝彦

## ◎感染症分野における当院の歩み

当院は2013年に第二種感染症指定医療機関として福岡県から指定を受け、二類感染症、新型コロナウイルス等感染症が発生した際には入院対応にあたります。2020年初頭より始まった新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、重点医療機関に指定されたこともあり、院内一丸となり、軽症から超重症まで多くの患者さんを受け入れ、治療に奔走いたしました。

現在4床の感染症病床を有しており、保健所や検疫所などと対象感染症の患者発生を想定した訓練を定期的に行い、有事に備えています。感染症内科は、指定医療機関としての役割を充実させるべく2015年に開設され、当初は医師1人体制からスタートしましたが、2021年度より3人体制となりました。

## ◎当科の活動

地域の医療機関からのご紹介を含め、外来を受診される患者さんは、肺炎や尿路感染症、皮膚軟部組織感染症などの種々の感染症、渡航関連感染症が疑われる方、不明熱の方など、多岐にわたります。自科での診療だけでなく、各科からのコンサルテーションへの対応や血培陽性症例への介入、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）としての活動の他、院内感染対策チーム（ICT）の一員として感染対策などにも取り組んでいます。また他施設からの依頼を受け、感染症や感染対策に関するレクチャーなども行っております。

## ◎抗菌薬適正使用に向けて

近年、世界的に薬剤耐性菌が大きな問題となっております。当院でも、以前は数年に1回程度の検出頻度だったある種の多剤耐性菌が1年に数件検出されるような事態も発生しており、市中にそういった多剤耐性菌が広がりつつあることが危惧されます。また最近の研究においても、耐性菌が関与する死亡者数が当初の想定よりも早い勢いで増加している可能性が示されており、早急に、かつ確実な対策を行うことが望まれます。

当院では、抗菌薬開始前の培養検査提出、広域抗菌薬からの速やかなde-escalation（より適切な狭域抗菌薬への変更）などについて、細菌検査技師や薬剤師と連携を取りながら適宜各診療科への呼びかけを行い、抗菌薬適正使用を目指しています。また薬剤耐性菌の検出時は、迅速に各部署へ周知し、感染対策を開始し、薬剤耐性菌の拡大・蔓延を防いでおります。



感染症内科 左から、後藤 健志 医師、原田 由紀子 医師、芳野 秀治 医師



## ◎成人対象ワクチン外来の開設

感染予防の側面から、ワクチンで防げる疾患（VPD）に対しては、特に基礎疾患を有する方や免疫抑制者へのワクチン接種が重要となります。最近、成人を対象とした带状疱疹ワクチン、RSウイルスワクチン、新規の肺炎球菌ワクチンなどが開発され、国内でも接種できるようになりました。

肺炎球菌に関しては、小児に対する肺炎球菌ワクチン接種が進んだことで、流行する血清型が以前と変わり、従来の肺炎球菌ワクチンでカバーできていない血清型の肺炎球菌が増えているということが分かっております。新規の肺炎球菌ワクチンは、そういった新たに増えている血清型に対応しています。

また、乳幼児に重症の呼吸器感染症を起こすイメージの強いRSウイルスですが、当院で肺炎などにより呼吸状態が悪化したり、ベースにある基礎疾患が悪化して集中治療を要するほどに全身状態不良となったりするような患者さんの中に、FilmArray検査（呼吸器パネル）でRSウイルスが陽性となる方が思った以上に多くいらっしゃるということが分かってきました。成人においてはRSウイルスの検査を行う機会がなかなかないため、これまでは見逃されていた可能性もあります。

患者さんが、播種性带状疱疹で治療に難渋したり、何度も肺炎球菌感染を繰り返したり、そして特に基礎疾患を有する方がRSウイルスや新型コロナウイルスの感染により重症化したりするような状況を鑑みて、感染予防の重要性を再認識し、このたび成人対象のワクチン外来を開設することといたしました。带状疱疹ワクチン、RSウイルスワクチン、肺炎球菌ワクチン、そして新型コロナワクチンの4種を取り扱う予定です。2026年4月の開始に向けて着々と準備を進めておりますので、準備が整いましたら改めてご案内申し上げます。

## ◎感染症内科として心がけたいこと

感染症は、あらゆる人、あらゆる臓器に起こり得るものであり、患者さんの診療において他診療科や多職種との連携、医療機関同士の連携が非常に重要になると考えております。また世界では様々な感染症が現在進行形で発生しており、先に述べたように耐性菌の問題も深刻です。人々の移動や、外国人の長期滞在も増えている現在、種々の感染症が日本に持ち込まれるリスクは高く、また新型コロナのような新規の感染症が出現してパンデミックとなる可能性も十分あります。

そういった感染症の発生動向に常に注目し、迅速に対応できるよう、また日々の診療におきましては患者さん1人1人と真摯に向き合いながら、質の高い感染症診療を提供できるよう、心がけてまいります。

そして、感染症診療を担う病院として、その役割を果たすべくスタッフと一致団結し、皆様に貢献できるよう励んでまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



感染症対策チームスタッフ

## 第63回 福岡東部オープンカンファレンス

【テーマ】 当院におけるリハビリテーション  
～急性期リハの実践～

【日時】 2025年12月8日(月)

### 【演題】

1. 「ICUでのリハビリテーション」  
理学療法士 荒井 鷹哉
2. 「がんのリハビリテーションについて」  
作業療法士 中尾 達也
3. 「急性期の言語聴覚療法」  
言語聴覚士 齋藤 裕子



⇐ご視聴はこちらから



## 消化管症例検討会

【日時】 2025年11月11日(火)

### 【症例】

ご視聴はこちらから⇒



1. 「仮性動脈瘤で生じた後腹膜血種により十二指腸狭窄をきたした正中弓状靱帯圧迫症候群の一例」  
消化管内科 医師 池田 浩子
2. 「梅干しの種により小腸穿孔を来した一例」  
研修医 大原 朋也





外来受診の場合

診療受付時間 ①月～金曜日【8:30～11:00】

来院時間	
8:30～11:00	初診は予約制ではないため、紹介状をお渡しのうえ、当院へご案内ください。 事前にFAXにて情報提供いただく場合は、ホームページに掲載している「診察申込書」をご利用いただけます。 ※必ずしも必要ではございません。
11:00～17:00	急患・ご紹介の場合は、地域医療連携室までご連絡ください。 ☎（TEL:092-632-3430） ☎（FAX:092-632-3431）
17:00～翌日 8:30	当院・時間外窓口（代表）へご連絡ください。 ☎（TEL:092-632-1111）

※検査の予約につきましては、FAX でもお受けいたします。  
詳しくは、ホームページをご参照ください。（検査申込書を掲載しております。）

検査の予約方法

予約受付時間 ①月～金曜日【8:30～17:00】 直接ご連絡もしくは FAX をお願いします。

項目	連絡先・結果報告	注意事項
CT・MRI	☎ 病院代表:092-632-1111 ☎ 放射線受付(内線 1105) ☎ 地域医療連携室 (FAX:092-632-3431)	※予約時間の 30 分前にお越しください。 ※確認をお願いします。 ・リブレ血糖測定器の有無(CT・MRI) ・ペースメーカー及び磁石のついた義歯の有無について(MRI のみ) ※造影 CT・造影 MRI ・検査日より3ヶ月以内の血清クレアチニン値添付 ・ビグアナイド系糖尿病薬を投与中の場合、前後 2 日間は休薬をお願いします。(造影 CT のみ) 造影 CT:検査前 3 時間の絶食 MRCP:検査前 4 時間の絶飲食
	放射線科専門医が読影後、レポートと CD-ROM を当日患者さんにお渡しするか、もしくは郵送します。	
上部消化管内視鏡	☎ 病院代表:092-632-1111 ☎ 内視鏡室(内線 1313) ☎ 地域医療連携室 (FAX:092-632-3431)	※予約時間の 15 分前にお越しください。 前日の午後 9 時以降は絶食。 当日朝の少量の飲水は可。 ※(鎮静希望の方)
	消化器専門医が読影後、レポートを当日患者さんにお渡しするか、もしくは郵送します。	検査当日から翌朝までは車両の運転はできませんので、公共交通機関等をご利用ください。

★トピックス 全館で無料Wi-Fiが使えます！

全館で無料Wi-Fiが使えます。  
少しでも入院患者さんに快適な入院生活をお送りいただけるよう、  
他にも手を尽くしてまいりたいと考えております。



# 福岡市民病院 外来担当医一覧表

(受付時間: 平日 午前8時30分～午前11時)

◎: 新患 ●: 再患

診療科	専門分野	医師名	月	火	水	木	金
消化管外科	消化器外科、一般外科	東 秀史	○		○		
	消化器外科、一般外科	山本 孝		○			○
	消化器外科、消化管外科	松山 歩		○		○ (午前)	
	消化管一般、痔瘻瘻瘻	高橋 俊介	●	透視	◎	●	透視
	消化管一般	池田 浩子	◎	透視	◎	◎	◎
消化管内科	消化管一般	近藤 悠樹	◎ (第2、4)	◎	◎	◎	◎
	消化管一般	井口 祐希	◎ (第1、3、5)	◎	◎	◎	◎
	消化管一般	長田 美佳子		◎	◎	◎	◎
	消化管一般	後藤 綾子	◎	◎	◎	◎	◎
	消化管一般	森田 和豊	◎	◎	◎	◎	◎
肝・胆・膵臓外科	肝・胆・膵臓外科、消化器外科	小齊 伸希子	○	○ (午前)			
	肝・胆・膵臓	小柳 生正		○	○	○	○
	肝・胆・膵臓	吉本 剛志		○	○	○	○
	肝・胆・膵臓	中村 史	○	○	○	○	○
	肝・胆・膵臓	古賀 勇太	○	○	○	○	○
血管外科	血管外科、腎不全外科	江口 大彦		○		○	○
	血管外科	本間 健一	○				○ (午前)
	腎臓内科一般、血液浄化	池田 裕史	○	○	○	○	○
	腎臓内科一般、血液浄化	吉田 祐子					○
	腎臓内科一般	中尾 龍理子					○
腎臓内科	腎臓内科一般	坂井 義之	●	◎	●	●	◎
	腎臓内科一般	安部 健太郎	◎	●	●	◎	●
	腎臓内科一般	原田 由紀子					○
	腎臓内科一般	後藤 健志				○	
	腎臓内科一般	後藤 勇治					
感染症内科	感染症	藤澤 重理子					
	感染症	村山 佑里子					
	感染症	石井 裕					
	感染症	※交代制					
	感染症	※交代制					
放射線科	画像診断一般、IWR	エコー(超音波)					
	画像診断一般	※交代制					
	画像診断一般	※交代制					
	画像診断一般	※交代制					
	画像診断一般	※交代制					
内科	内科	※交代制					
	内科	※交代制					
	内科	※交代制					
	内科	※交代制					
	内科	※交代制					

診療科	専門分野	医師名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	呼吸器内科一般	小野 伸之		○	●	○	
	呼吸器内科一般	柴田 大輔		○			
	呼吸器内科一般	弘永 潔	●	◎	◎	◎	
	呼吸器内科一般	大坪 秀樹	◎	◎	◎	◎	◎
	呼吸器内科一般	安部 喜文		◎	◎	◎	◎
循環器内科	循環器内科一般	松浦 純				◎	◎
	循環器内科一般	鳥嶋 功士	◎	◎	◎	◎	◎
	循環器内科一般	渡邊 高徳	◎	◎	◎	◎	◎
	循環器内科一般	塩入 慧亮	◎	◎	◎	◎	◎
	循環器内科一般	塩入 慧亮	◎	◎	◎	◎	◎
脳神経外科	脳神経外科一般	平川 勝之	○	○	○	○	○
	脳神経外科一般	吉野 實一朗					○
	脳神経外科一般	福島 清					○ (午後)
	脳神経外科一般	松下 龍仁					○ (午後)
	脳神経外科一般	長野 祐久	◎	◎	◎	◎	◎
脳神経内科	脳神経内科一般	中道 英明		◎		●	
	脳神経内科一般	柴田 薫一	●	◎	◎	◎	◎
	脳神経内科一般	向井 達也				◎	◎
	脳神経内科一般	齊藤 太一	○	○	○	○	○
	脳神経内科一般	田中 哲也					○
整形外科	整形外科一般	中尾 龍理子					○
	整形外科一般	柴田 義之					○
	整形外科一般	江口 大彦	○	○	○	○	○
	整形外科一般	矢野 裕太	○	○	○	○	○
	整形外科一般	毛利 一臣	○	○	○	○	○
救急科	救急科一般	前田 真奈美	○	○	○	○	○
	救急科一般	小野 雄一	○	○	○	○	○
	救急科一般	砂川 卓哉	○	○	○	○	○
	救急科一般	砂川 卓哉	○	○	○	○	○
	救急科一般	砂川 卓哉	○	○	○	○	○

地域医療連携室直通 (平日 8:30~17:00)

TEL: 092-632-3430 FAX: 092-632-3431

福岡市民病院

■受付時間: 平日8:30~11:00  
 ■休診日: 土日祝日・年末年始 (12/29~1/3)  
 急患は救急外来で24時間対応します。

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番1号  
 TEL 092-632-1111 FAX 092-632-0900